平成２８年度　青森県立野辺地高等学校

１学年通信

第２号（H28/5/30）
発行者：１学年主任
砂澤拓弥

《『脱・中学生』宣言！！》

慌ただしかった４月も終わり、ほとんどの生徒が学校生活に慣れ、自分のペースを掴んできています。一方で、体調を崩す人も出始め、**心身の健康を保つ力を高めなければならない**生徒もいます。５月は、高校生活最初の大きな定期考査があったということもあり、生徒にも学年集会の際に**『脱・中学生』**を訴えました。保護者の皆様におかれましても、以下の内容について今一度ご確認いただき、生徒の**より良い生活・学習習慣の定着**に向けてご協力いただきますよう、お願い致します。

『脱・中学生』宣言！　～高校はここが違う！～

高校では中学校までと異なり、「原級留置」として次の学年に進級できないことが有り得ます。過去の数字は書きかえることができませんので、年度末になって悔やむことがないよう、以下の事柄等に、はじめのうちから気をつけて高校生活を送らせてほしいと思います。

point１　「欠席」に要注意！

・欠席すると授業を休むこと（欠課）になりますが、**欠課時数が規定を超えると原則としてその科目の単位が認められません**。複数科目に渡ると進級できなくなることもあります。

・進路決定に向けた活動をする際に、欠席日数が多いと**志望先からチェックを受ける可能性**があります。特別な理由のある欠席以外は、**年間で７日以内には抑えたい**ものです。

・学校生活も仕事と同じで、**１日１日が大切**です。１日休むと自分自身の学校生活にとって必ずマイナスが生じます。**心身の健康を整え、ぜひ皆勤を通してほしい**と思っています。

point２　「考査」にしっかりと取り組む！

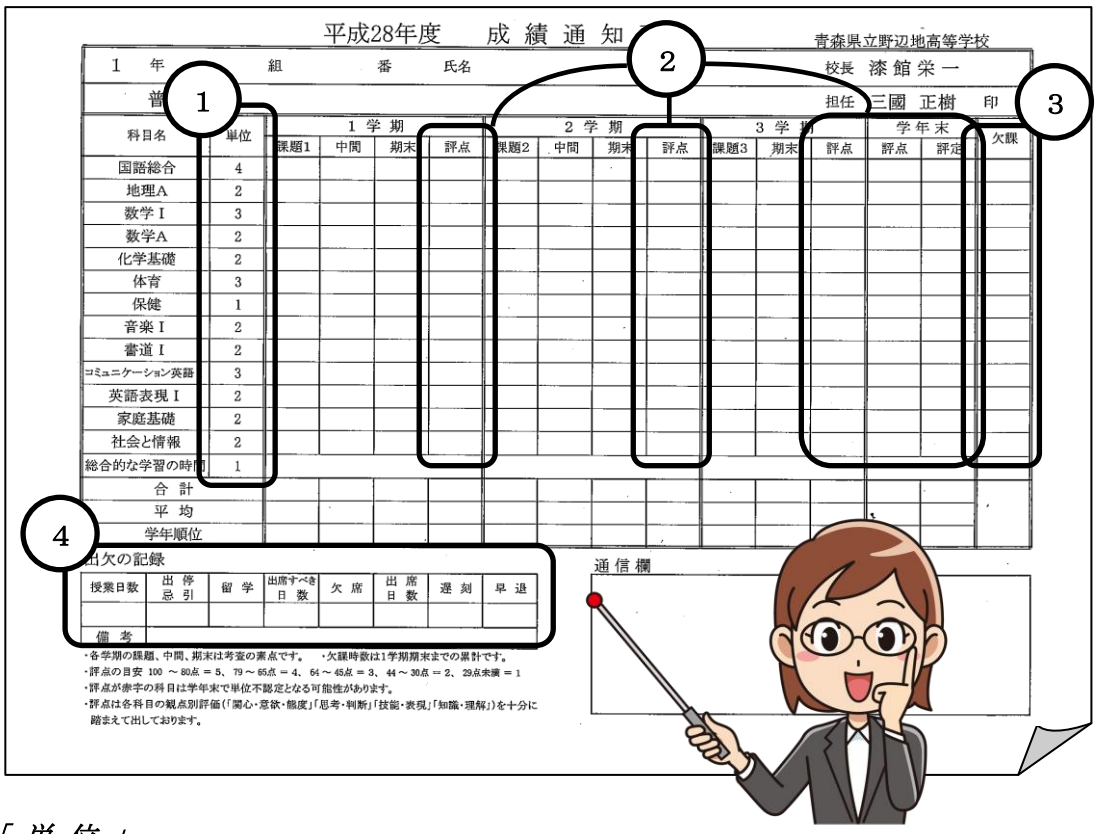
・単位が認められない生徒に多いのは、**年間の評価で評定“１”**をとってしまう場合です。評価は、授業の様子、課題、提出物等、様々な観点から付けられますが、**考査はその重要な要素**の１つです。

・１学期の評価に大きな影響を与えるのが、今回の“中間考査”と次回の“期末考査”です。**１学期は考査があと１回しかありません**ので、十分に勉強に取り組んでほしいと思っています。

・出席停止や公欠席については再考査という措置がとられますが、**通常の欠席の場合、原則として考査の得点は０点とみなされます**。ここでも心身の健康を保つことが求められますので、家庭でのご指導もお願いします。

《 『成績通知票』の見かた 》

定期考査が終わるたびに、今回のように『成績通知票』をご家庭に郵送でお届けします。今回は初めて送られるということもありますので、その見方についてご案内いたします。



①「単位」

授業50分を１単位として、その科目が何単位分あるかを表しています。**「１単位＝週１時間の授業」**になるので、例えば「４単位」の国語総合は、１週間で４時間の授業があることになります。

②「評点・評定」

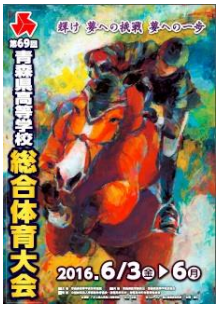
各学期末及び学年末の段階で数字が入ります。**各学期の「評点」はその学期の評価を100点法で表したもの**です。**年間を通しての評価は「学年末」の「評点」**の欄に表れ、対応する**“１”～“５”の「評定」**に換算されますが、この**「評定」が、最終的な評価**となります。

③「欠課」

授業を休んだ時間数です。欠席がなくても、遅刻・早退・保健室休養で欠課となることがあります。**原則として、１単位につき欠課時数が７時間を超えると、その科目の単位は認められません。**

④「出欠の記録」

中間考査最終日（5/20）までの出欠記録です。生活習慣の向上のために、**欠席・遅刻・早退の欄をご確認ください。**欠席は、出来る限り７日以内に抑えたいものです。

【今後の予定】

◎ 6/ 3(金)総体開会式（２時間授業）
◎ 6/ 4(土)～6(月)高校総体
◎ 6/ 7(火)開校記念日（休業日）
◎ 6/14(火)眼科検診
◎ 6/21(火)耳鼻科検診
◎ 6/29(水)
　～7/1(金)期末考査